

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和元年6月12日 ～ 令和2年3月13日
調査研究事項	<p>《委託研究Ⅳ》</p> <p>義務教育の機会を求める多様な人々に対し、その機会の提供を拡大していくために必要な環境整備の在り方について、次の事項に関する調査研究を実施する。</p> <p>ア. 広報・相談体制の充実に関すること</p> <p>ウ. 教職員研修に関すること</p> <p>エ. その他夜間学級における教育機会の提供拡充に関すること</p>
調査研究のねらい	<p>主に次の点について取り組み、多様な生徒の受け入れ拡大に向けた、今後の環境整備の在り方についての研究を推進する。</p> <p>ア. さつき学園は、国内で唯一夜間学級を設置している公立義務教育学校である。在籍生徒の居住市は守口市を中心として広範囲におよび、大阪市、吹田市、摂津市、門真市、寝屋川市、枚方市、交野市、高槻市、大東市、東大阪市から通学する生徒がいる。しかし、公立夜間学級の存在がそれを必要とする者、および社会全般に認知されているとはいえない。生徒募集を年に2回行っているが、通学可能な地域において義務教育の機会を求める方々全てに情報が届いているとはいえない。ポスターやフライヤー作成等により、広報手段に関して、より多くの人々に長期的に夜間中学の情報を伝える方法を研究する。</p> <p>ウ. 本夜間学級では中国から引揚帰国した生徒や新渡日の生徒が全体の約半数を占めている。それに加え最近では、パキスタン、ネパール、インド国籍の生徒が入学してきている。年齢や国籍等、今後も多様化が予想される生徒に対して必要な教育環境を整備していくため、学習指導や生徒指導のあり方について研究していく。</p> <p>若年層の生徒には、高等学校進学を考えている者もいることから、課外も含めた学習指導体制の充実を図る。</p> <p>エ. 日本、韓国・朝鮮国籍の生徒は高齢化がすすみ病気等に悩む生徒が多い。そのような生徒の教育機会確保のため、生徒指導や教育相談のみならず、生活相談等、安心して学習できる環境を整えていくために必要な対応や、生徒に寄り添った支</p>

	<p>援の方法について研究する。</p>
<p>調査研究の成果</p>	<p>ア. 募集活動において、これまでの研究等の成果を盛り込んだポスター、チラシ、リーフレット等を活用した。それぞれの配布形態に応じた使い方ができ、常に置いていただける場所ができる等、好評であった。</p> <p>ウ. 大阪産業大学国際学部教授 新矢 麻紀子先生を招聘し、効果的な学習指導や生徒指導のあり方について「夜間中学における日本語指導について」というテーマで校内研修を実施したことにより、授業における日本語指導に関する疑問や悩み等に関する教員の指導力が高まった。</p> <p>ウ. 高齢化がすすみ病気等に悩んでいる生徒、また様々な生活背景を有する多様な生徒に対し、生徒指導や教育相談、生活相談、在住市の市役所や病院への付き添いなどを行うことを通して、一人ひとりの学習環境が整い、学習意欲が高まった。生活指導、生活相談、健康教育のための連絡文書、啓発的な掲示を作成することを通して、養護教諭に日々の体調を相談する生徒が増える等、夜間中学生の健康に対する意識が高まった。</p> <p>ウ及びエ. 日本語指導関係図書を活用し、外国籍の生徒など多様化する生徒の有する諸課題解決を踏まえつつ、校内の研修部を中心に教材や連絡文書などを工夫して作成することを通して、外国人生徒の「漢字を書くこと」や「助詞」に対する抵抗が減少した。</p> <p>エ. 職員会議の中で「クラスの様子」を位置づけ、長欠者には各担任が家庭訪問・電話・郵送での連絡等、定期的に確認を行いつつ、生徒一人ひとりの課題への対応について教職員の共通理解を図ることを通して、生徒から担任に返事が返ってくる等、学校で学習しているという意識が高まった。</p>